

行政視察研修



大雨災害で崩れた町道小屋瀬塚森線



修繕工事を終えた清掃センター（乱吉沢）

町内所管事務調査実施 施設・設備の工事や整備状況を確認

輝くふるさと常任委員会(辰柳敬一委員長)は、町の課題解決策を探るため、10月28日・29日、鈴木重男町長と共に、福島県の広野町と埴町の取組みを研修しました。

福島県広野町

スポーツ交流の拠点

Jヴィレッジ

広野町と櫛葉町にまたがる広大な敷地（東京ドーム10個分）にサッカーコート10面ほか、ホテル、フィットネスジム、プールなどを備えたJヴィレッジでは、全国規模のサッカー大会の誘致や各種スポーツ大会を開催するなど、スポーツ交流推進の拠点となりました。



広大な敷地にひろがるサッカーコート



みかん栽培の様子（広野町）

特産品開発

広野ブランド

広野町では、冬の平均気温が10度を超える温暖な気候を生かし、みかん栽培に取り組んでおり、特産品のみかんを活用したワインの商品開発を葛巻町と行っています。また、無農薬で栽培した特別栽培米「とんぼめがね」もブランド化を図っており、今後の消費拡大が期待されます。

グローバルな人材育成

ふたば未来学園

広野町では、総合学科の高等学校と併設する中学校からなる中高一貫教育のふたば未来学園があり、欧米の大学キャンパスを模して建設された校舎はスタイリッシュで、カフェや図書スペースが充実しており、生徒らが自由に利用していました。また、トップアスリートの育成も盛んで、充実した練習環境により、多くのオリンピック選手を輩出しているとのことでした。



10面整備されたバドミントン練習場

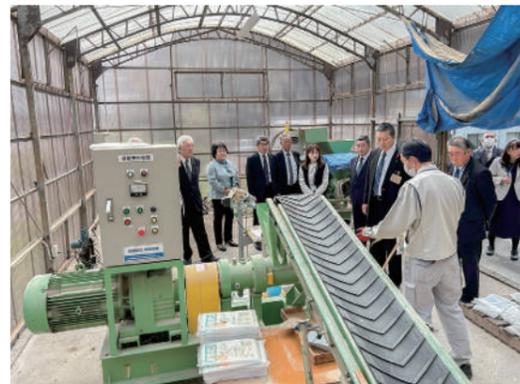
福島県埴町

サイクルーツリズムによる町づくり

埴町では、東白川郡を巡る「奥久慈街道」が国土交通省のサイクリングモデルルートに認定され、道路整備が進んだことで、久慈川と並行して整備されたサイクリングロードは、桜並木など美しい里山風景が広がり、全国のサイクリストがリピーターになっているとのこと。

竹を活用した農業の取組み

多数存在する竹を特殊な機械により粉砕し、竹パウダーを生産し、農産物の堆肥としての活用に取り組んでいるとのことでした。竹パウダーは、落ち葉などの分解を促進させ、作物が健全に育つとされており、処分になっていた竹を資源としての利活用に感銘しました。



竹パウダーを生産する特殊な粉砕機

輝くふるさと常任委員会（辰柳敬一委員長）は、10月16日に、5年度から6年度にかけて実施されている町内施設の工事進捗状況等5箇所を視察しました。

清掃センター 長寿命化修繕工事

清掃センターの長寿命化修繕工事を視察し、農林環境エネルギー課長から説明を受けました。清掃センターは、ごみ焼却を始めてから30年を経過しており、老朽化が進んでいます。盛岡広域8市町で進めている共同ごみ焼却施設の14年度稼働まで、使用しなければならぬことから、適切な維持管理について要望しました。

8月大雨災害被害 町道小屋瀬塚森線

今年8月22日から発生した台風10号の災害によ



新しい展示ケースを設置した小田やすらぎの家民俗資料館

小田民俗資料館 展示ケース設置工事

小田老人クラブが「地

る被害状況を視察し、地域整備課長から説明を受けました。町道小屋瀬塚森線の数か所で河川法面が大きくえぐれ、道路が欠ける状況が発生しており、早急な対応を要望しました。旧小田小学校の校舎を活用して展示された施設は、老朽化が進んでおり、資料の保存環境が懸念されることから、町の積極的な支援を要望しました。

議会では、議員報酬を積立てて、行政視察や政務調査の費用の一部に充てています。